

◆ 2007 年度役員名簿 ◆

役 職	氏 名	卒業期
会 長	中川 宗之	07期
副 会 長	直木 武	08期
"	林 茂	17期
"(事務局担当)	棚池 康信	18期
会 計	松田堅太郎	08期
監 事	馬場かよ子(浅田)	18期
"	五藤 雅彦	23期
事 務 局 長	島 寛	21期
事 務 局	広崎 智子(田中)	17期
"	河本 富子(柳橋)	18期
"	田中 芳文	19期
"	富井 容子(安田)	20期
"	小菅美和子(新宅)	21期
常 任 幹 事	吉崎 博	08期
"	川端 光昭	13期
"	宿谷 詔兵	14期
"	下谷 政弘	15期
"	岡本 嗣朗	16期
"	秋本 勉	18期
"	森 啓二	24期
相 談 役	吉倉 良雄	04期
"	安井 正弘	05期
顧 問	幸村 誠	05期

年会費納入のお願い

あなたの年会費が、二水の絆を育てます。同窓会の運営は会員の皆様の年会費によって行われています。現在、多くの方に趣旨をご理解いただき、納入にご協力いただいております。この度、関西同窓会は名称は変わりませんが、金沢二水高校同窓会の関西支部として、再出発しました。したがって、今後は関西同窓会として会費を徴収することはありません。毎年、7月に発行されています同窓会報「からたち」に同封の振替用紙か、お近くの郵便局に備え付けの用紙をご利用の上、同窓会本部に納入をお願いいたします。



会費は本部同窓会へ納入してください。

まほろばハイキング 飛鳥彼岸花ウォーク

- 2007年9月 30日(日)9:30～
- 飛鳥駅～高松塚古墳～亀石～橘寺～石舞台古墳～棚田
- 参加者 6人

「雨の中でも歩こう」と電車で下りたった飛鳥駅は激しい雨が降っていた。しばらく待たが止みそうもない、小降りになったところで歩き始める。高松塚古墳壁画館から天武・持統天皇陵、亀石を経て、聖徳太子生誕の橘寺へ。心の持ち方を表すという二面石や往生院の華の天井画を拝観。雨のため弁当を広げる場所がなく、石舞台古墳前のレストランで昼食となった。午後からは古代米が植えられている棚田の中の道を帯状に咲いている彼岸花を愛でながら散策した。



- 編集・発行 石川県立金沢二水高校関西同窓会
- 事務局 棚池 康信 〒578-0947 東大阪市西岩田 2-7-25-840 TEL&FAX 06(6785)0244
- 印刷所 (有)ファースト印刷 〒660-0815 尼崎市西長洲町 2-30-20 TEL 06(6488)5511

皆様の投稿をお待ちしております。

関西同窓会ホームページ <http://www.kansai.zaq.jp/nisui/>

からたち関西

発行 / 石川県立金沢二水高校関西同窓会 2007年(平成19年)10月

VOL. 8

気合が入ります。

もう一つはビアパーティーの開催です。わが関西同窓会は「堂島ホテル」という格式のあるホテルで盛大にスタートしました。必然的に会費は高くなり、その後もホテルを会場に続けてきましたが、会員によってはこの会費が負担という声も聞こえてきました。また、総会はどうしても儀式的になるので、その堅苦しさが嫌われる向きもあったようです。それに代えて始めたのがビアパーティーです。



10月27日に金沢二水高校同窓会の関東支部設立総会が開催されます。関西支部として心からお祝い申し上げますとともに、同志が生まれたことを喜びたいと思います。関西支部は1999年11月に金沢二水高校関西同窓会として設立され、本年2月の総会で関西支部となるという組織の変更を経て8年が経過しました。関東支部の設立を前にして、関西支部設立当時の熱気を思い出しますが、この機会に少しでも関西支部の足跡をたどってみたいと思います。

今回関東支部の設立総会には300人近い同窓生が参加されるようで、期待感の大きさを感ずりますが、関西同窓会の設立時も予想を超える120人が参加され、同窓生の熱気を感じたものでした。しかし、その後は総会への参加者が残念ながら減少してきて、現在では設立時に比べ半減しています。もともと昨年まで同窓会の参加者を含めて250人程度の会員が年会費を支払っていただき、関西同窓会はこの組織力に支えられて維持されてきました(名簿上では会員800人程度です)。参加される皆さんは必ずしも固定されているわけではなく、会場はいつも大いに盛り上がり、本当に参加したい人が集まるのなら、このくらいの人数で楽しくやるのも良いのか、という気もします。しかし、関西同窓会としてはできるだけ活発な活動を続けたいということで、様々な工夫を試みてきました。取り組みの一つは、この『からたち関西』の発行とホームページの開設です。もともとそれは、同窓会総会への会員の動員手段というよりは、会員の心をつなぐネットワークの役割を果たすものです。会員の中には様々な環境におかれている人がおられて、例えば介護に追われて同窓会には出席できない人も多く、同窓生の文章に触れることが心の慰めという方もおられます。いつの日か同窓会に出席することを楽しみにしている会員がおられると思えば、頑張るといえば、頑張ると、



活気のある同窓会を続けたいといけません。

特集 私と関西同窓会



回想の白山
4期 村上 弘

二水高校を卒業した昭和27年の夏、友人二人とはじめて白山に登った。それまで卯辰山と倉ヶ岳しか登ったことがなかったが、男子いちどは白山に登らなくてはという軽い気持ちだった。北陸鉄道石川線の白菊町駅から白山下駅まで電車、おんぼろのバスに乗り換えて白峰の集落を通り終点市ノ瀬についた。バスは満員、道路はデコボコで上下左右に大揺れ、乗物酔いでグロッキーになった。杖を買って、砂防新道を室堂まで一気に登った。当時山小屋は米持参で三合ぐらい持っていった。

翌朝は早起きしてまだ暗いうちから登りはじめ、山頂で日の出を待った。東の空が白み始めて待つことしばし、見事な雲海が見渡すかぎり広がり、その果てから太陽がのぞいた瞬間、金色の光がサーと走った。雲が金色に波打ち、紅に薄紫に、やがて青白く移りゆくさまは、神々しく神の存在を予感した一瞬であった。思わず山頂にいた人達みんなで万歳を三唱した。白山比咩神社の神主が「こんな素晴らしい日の出はめつたにない、みなさんは幸運だ」と話してくれた。通常は遠くに見える北アルプスの一角から日が昇るが、この時は山が雲海の下に沈みいちめん大海原だった。この時見たご来光と雲の輝きは、私の青春の貴重な一頁で、山登り事始めである。

これまで白山には夏と秋あわせて17回登っている。去年の夏は砂防新道から上がり、南竜山荘と室堂に泊まり、飛騨側の大白川温泉に下りた。高山植物に魅せられた山行だったが、大汝峰と御前峰との狭間の水気のない風の強い砂礫地で、高さ4～5センチぐらいで絨毯のようにひろがる矮小低木のガンコウランが目にとまった。花が5・6月に咲くのでこれまで気づかずにいた。調べると幹の太さが3ミリになるのに20年はかかるという。歌人会津八一の詩に《雲を呑み、風に鞆され、太陽を食い、星より清純な高嶺の花が、千年の岩の斜面をちりばめている》との一節がある。高山植物のたくましさ、けなげさに頭がさがる思いである。

53年間山に登り続けているが、今は案内書のコース時間の二倍ぐらいの時間をかけて、休みながらゆつくりと登っている。国内にはまだまだ登りたい山が沢山あって老い込んではおれない。私にとって、金沢は白山につながるふるさとでもある。



関西二水十八期生
18期 岡田 順子

還暦の意義ある十八期同窓会、今年は是非とも出席したいと酷暑の中、金沢へ。恩師の北村先生にお目にかかり、限られた年を重ねるこれからの日々、よきお手本にさせて頂きたいと思いました。

不慮の事故で亡くなられた小杉さんはじめ、あの場に、いろんな事情でこれられない方が多勢いらっしゃるのに、元気で参加できた事、ありがたく思いました。しかし、お顔と胸の名札が結びつかず、頭の中はフル回転、浦島太郎の心境です。当初出席しないと言っていた親友(私と違って文才あり)が、同窓会直後、新聞に投稿…「親友に誘われしぶしぶ出席した。男性に比べ女性は云々…でも楽しかった。出席してよかった…」と。女性の方はお話ししていたら、断線中の頭の回路も少しずつ繋がり、それなりに思い出話も。男性の方は殆んど二水高校と結びつかず最後まで断線したままでした。そういう場でも、関西十八期の方達とは気楽に話せ、旧知の友人と会えた様なホッとした気分になりました。

紫錦台中学校時代の事は、いろいろ(?)と鮮明に記憶していますが、高校時代の記憶は霧の中です。でも、二十数年前に西宮へ来まして、早々に関西の二水の方達の集まりにお誘い頂き、それまで遠い存在だった二水が徐々に身近に感じられるようになりました。私にとって、「金沢二水」より「関西二水」かも…。今では関西での集まりを楽しみにしております。お世話して頂いている方々に改めて感謝申し上げます。

私事で恐縮ですがこの面をお借りして…。この秋に、夢だった「金沢での絵の展覧会」(個展はおこがましいので、一いとこ展一)をします。期間中、金沢へ帰られる機会がありましたら、お立ち寄り下さい。

一いとこ展一 11/7(水)～11/12(月) ギャラリー・アルトラ(☎076-231-6698) 金沢市下堤町7番地アルトラビル3F (近江町の入り口の近くです) (二水17期生宇野のり子とします)



人との出会いを大切に
23期 五藤 雅彦

はじめまして、23期の五藤です。今後ともよろしくお願ひいたします。

現在、関西支部の23期の役員をしております。実は約3年前、18期の河本様より突然電話を頂きまして、その時初めて「金沢二水高校関西同窓会」の存在を知りました。それまでは卒業以来、金沢での同期会にも出席したことがありませんでした。

平成17年夏に祇園祭りの京都でビアパーティがあり、その時が初めての参加でした。この時は23期3人が34年振りに集まりました。この機会がなければ、先ず出会うチャンスは無かったと思います。参加して本当に良かったです。それぞれ髪型や体型など当時の面影がないものの、言動、態度(?)は当時のままで、「憧れの人は今どうしているかな」等々話題が尽きず、あつという間に時間が過ぎたのを覚えています。そのお陰で今でも連絡は取れるようになっています。以降役員会、総会、ビアパーティと可能な限り出席しております。役員会で関西同窓会を発起された方々と色々な話をしますが、会を維持発展させていくにはそれなりの苦労、課題があることがよく分ります。現職の方も多く、さまざまな企画や案内発送も休日に集まって、手作業で行っており皆さんの努力の賜物だと思います。

さて、私自身の紹介をします。出身は白山市(松任)で、当時は松任駅から列車で金沢駅まで、そしてバスで十一屋まで通っていました。その後大学卒業と同時に就職し、神奈川県横浜市に2年、鎌倉市に8年近く住んでいました。近くの江ノ島や湘南海岸に子供を連れていったり、妻と鎌倉近辺のお寺めぐりをしたことを懐かしく思い出します。その後昭和61年に関西地区に転勤となり以降、神戸・大阪・京都の職場に勤務し、現在JR甲子園口駅近くに住んでおります。地元北陸での勤務経験はなく、いつかは実家から通勤出来る職場への転勤をと希望を持っていたのですが、もうその夢は実現しそうもありません。

それから趣味ですが、会社の山岳部に席を置いていたこともあり、地元の白山や神戸六甲山を始め京都、滋賀、兵庫それから九州や四国、東北などの山を歩きました。生まれて初めて雪中登山の経験をし、眼鏡についた雪があつという間に凍る怖い経験もしました。関西近辺では絶壁大台ヶ原や今なお女人禁制の大峰山系、1月頃の金剛山も良い所で、頂上が氷点下になり樹氷を見ることが出来ます。毎年続けて行った時期もありました。

最近では妻と二人で天満橋から「熊野古道250km全歩破」に挑戦しているのですが、1回で約10km～15km程度歩き、もちろん何回かに分けて歩くのですが、JR和歌山駅

近辺まで歩破しました。現在は中断中です。「熊野本宮大社」まではまだまだですが、完歩の夢は今もあきらめてはいません。以前の職場の仲間に連れられて、松茸、山葵、サザエ、そして篠山の黒豆採り等々海山の幸を求めて歩き、果ては仲間の誘いで市民マラソンまで参加しております。なぜかそれでも減量は出来ていません。どれも、これも出あつた友人達のお陰だと思っております。職場を離れた今も声をかけてもらっています。人の出会いは大切にしたいと常々心がけています。

関西支部の皆様とは「二水の卒業生」という一点だけの繋がりですが、「出会いは無限のチャンス」だと思っておりますし、今後共お付き合いをさせていただきたいと思っております。

どうかよろしくお願ひいたします。



私と関西同窓会(金沢)
18期 秋本 勉

「午後の廓の町は、いつも眠つたようにひっそりとしている。まして日の長い七月であればなおさらだ。裏庭の松の木の上で、ひっきりなしに蝉の声がきこえていた。窓の外につづく瓦屋根の照り返しがまぶしかった。」

五木寛之の「金沢望郷歌」冒頭の一節である。…私は昭和41年の春、金沢を離れ京都の大学に入学、憧れの下宿生活からその数ヶ月後には親父の転勤により京都山科の官舎に移り住んで以来、この城下町金沢とはまったく縁がきれてしまった。わが校の同窓会名簿にも行き先不明のままであつたらしいが、意外や就職した会社(東京)に二水出身の後輩が2名入社、やがてその一人S君(20期卒)を介して何十年ぶりかにて本部同窓会名簿に復帰。50歳を過ぎた頃ようやく同期の皆さんに会い、関西同窓会の存在も知ったわけです。

この七月に還暦を迎えたばかりだけに青春時代を同じ舞台で育つた皆との再会、出会いは私にとって新たな人生のステップのひとつとも云えます。「金沢望郷歌」とは心地良い響きです。私の心に残る故郷の四季は40年近く遠ざかつてあらためて京都にもない独特の古風な街、大人の街として不思議な郷愁を覚えるのです。

今、金沢の移り変わりはすさまじくその歳月の速さに驚くばかりですが、私たちの故郷への想いは変わることはないのです。「関西同窓会」設立の原点はこの『想い』にあるのではないのでしょうか。

縁あつてこの関西地区に移り住んだOB・OGが気兼ねなく集まり自由に遊び、語らうことができる場所「関西同窓会」とは私にとって忘れかけた青春の1ページを蘇えらせてくれた場であり、私と金沢を再び結びつけてくれた真に縁結びの会でもある。

